

令和7年度 第1回恵庭市シティセールス推進委員会 (議事録)

日 時	令和7年10月29日(水)14:00~15:30
場 所	恵庭市役所 2階 205会議室
主席者	<p>■出席委員 6名:酒井委員長／三浦委員／安藤委員／沼倉委員／松田委員／金子委員 (□欠席委員 4名:三浦委員／國廣委員／岡田委員／藤原委員)</p> <p>■事務局7名:(企画振興部長野村／同次長高橋／企画課主幹渡辺／同主査吉成／同スタッフ松永／同スタッフ寺山／同スタッフ吉岡)</p> <p>■関係課1名:花と緑・観光課主査高橋</p>



	発言者	内 容
1 開会	事務局	開会挨拶、資料確認、出欠報告
2 議題	委員長 事務局	<p>それでは議題に入ります。 令和7年度シティセールス事業の取組報告について、事務局から説明願います。</p> <p>1つ目の議題としまして、令和7年度シティセールス事業の取組報告についてです。 スライド4ページ(以降、P○という)以降をご覧ください。 まず、シティセールスで行っている事業の1つとして公式インスタグラムでの投稿等を行っています。 フォロワー数は令和7年3月末に13,411人でしたが、令和7年9月末には13,783人となっており、増加しております。 P5、投稿件数についてお示ししております。 月によってばらつきはありますが、多い月だと20件弱の投稿があります。 今年度の上半期は90回弱投稿させていただいております。 P6、こちらは勝手に20選ということで、投稿について「いいね」が多いものを上位20選としています。10選は市の投稿で、広報誌を掲載した時のものですが、イベント関係を中心に投稿しております。1位は広報の7月号、2位がえにわん産業祭、3位がえにわずっとフォトコン2025となっています。 P7、残りの10選は市民投稿となっております。上段の4作品が優秀賞、下段の4作品が次点となっております。まだ、10月分がないので6~9月の4ヶ月分となっております。 P8、シティセールスの各事業の取組報告になります。 まず1点目がフォトコンテストということで、えにわずっとフォトコンを6月から3月まで通年で開催しております。 各月1名の優秀賞を選出し、5,000円程度の特産品をプレゼントし、市民参加型でのイ</p>

	<p>ベントとしております。</p> <p>今年からの取組として、広報誌にも載せて一部インスタ以外からも投稿されております。</p> <p>下段ですが、令和6年度の取組として旅色という電子雑誌を作成し、今年度事業として紙冊子として活用しており、首都圏でのサイネージなどを行っております。女優の戸田菜穂さんにお出演していただいており、YouTubeの動画の再生数も増加しております。</p> <p>P9からはふるさと納税についてのご報告になります。</p> <p>芸能人サムネイル活用として板野友美さんの画像を返礼品のサムネイルに使用しており、検索した時に目を引くようにしています。リピーター対策として定期的にメルマガの配布も行っております。</p> <p>下段の画像になりますが、マイナビふるさと納税とタイアップ、読売新聞の新聞広告への掲載、ふるさと納税専門誌への広告掲載等を行っております。</p> <p>その他、ポータルサイトでの楽天市場等の検索での広告等も実施しております。</p> <p>P10、出店内容とイベント参加についてです。</p> <p>10月12日に文教大学の大学祭にも出店し、文化祭パンフレットにPRの記事を寄稿し、地元キッチンカーと共同でPRをしました。今年からの取組としてパンフレット配布とインスタグラムフォローキャンペーンを実施しております。</p> <p>10月18日に東京で恵庭のつどいを開催しました。東京圏に住む恵庭市に縁のある方を集めたイベントを実施し、恵庭市のシティセールスやふるさと納税をPRしました。</p> <p>P11、ふるさと納税のイベントとしては、4月25日にエスコンフィールドに出展し、インスタフォローキャンペーンやふるさと納税PRなどを行いました。7月12日には、楽天球場の出展として、ラジオ出演や特産品セットの贈呈などを行いました。</p> <p>成果として、インスタグラムの登録者数も増加しております。</p>
事務局	<p>移住に関する事項について、担当から説明させていただきます。</p> <p>P12、移住定住支援冊子「えにわでくらす」の発行についてです。</p> <p>令和7年度は1800部を発行しました。市外での移住フェアなどで、様々な場所で配布を行っています。また、大阪梅田の「みちまちスクエア」で通年配布しております。</p> <p>毎月50冊程度が手に取られており、安定して関心を持っていただいている</p> <p>P13、オーダーメイドツアーについてです。</p> <p>恵庭市への移住者向けへの市内アテンドツアーで、コース設定から当日アテンドまで行い、今年度は20回以上実施しております。平成28年度からの累計実績も年々増加しております。実際に現地を見て暮らしをイメージできるということで、好評いただいております。</p> <p>P14、道外での出展イベントについてです。</p> <p>恵庭市の魅力を一体的にPRする場として出展しております。</p> <p>令和7年度は6月大阪で20件来場、7月東京で56件来場、9月大阪で34件来場、10月東京で64件来場と、それぞれかなりの数の方がお越しくださいました。</p> <p>12月東京、2月東京の出展も予定しております。</p> <p>P15、市内コミュニティFM e-niwaでの取り組みについてです。実際に恵庭に移住された方にご出演いただき、恵庭の好きなところというコンセプトで20秒のスポットCMで紹介しております。</p> <p>実際に聞いていただきます。</p> <p>(実際の音声)</p> <p>こうした取り組みを通じ恵庭の住み心地の良さなどを伝えております。</p> <p>以上が令和7年度の移住関係の主な取り組みです。</p>
事務局	議題1についての報告は以上です。
委員長	<p>議題1について、質問やご意見ありますか。</p> <p>【質問なし】</p> <p>それでは議題2の来年度の取組についてお願いします。</p>
事務局	<p>P17、来年度以降の予定についてです。</p> <p>今年度と同じくインスタグラムの活用やCM、イベントPRなどを行いたいと考えております。</p> <p>また、えにわっかアプリを活用したキャンペーンやハコニワンなどロゴキャラの活用や芸能人の活用も行いたいと考えています。</p> <p>以上です。</p>

	委員長	議題2について、質問やご意見ありますか。 【質問なし】 それでは議題3の恵庭市ふるさと納税の取組についてお願ひします。
	事務局	P19からです。 現状の説明から課題感などを洗い出し、アドバイスなど頂けたらと思います。 ふるさと納税については順調に伸びておられます。9月に駆け込みがあり、R7も順調に伸びているところです。 今後も増加させたいところで、皆様に意見を頂戴したいと思います。 ポータルサイトについては、現在31のサイトに載せてています。 返礼品は、9月末時点 1300品で、人気ランキングとしては7割程がビールとなっています。 ビールはクラシックや黒ラベル、エビスなどがあり、取扱事業者は2者です。他のジャンルとしては加工品が多く、ピザなどがあり、取扱事業者は17者です。 今後の寄付額を増加させるにはどうしたらよいか、というところが課題です。 P20、中間管理事業者の説明です。 寄附者データ管理やコールセンター業務、ワンストップ対応などの業務を委託しております。 平成28年度開始時点は直営だったものを平成30年から委託化し、令和3年からは現委託先となります。 課題としては事業者選定の公平さ、事業拡大による新たな魅力発信と寄付獲得が挙げられます。 今年度は公募型プロポーザルを実施予定です。 その審査委員会に2名ほど委員を選定したいと考えております。ふるさと納税については以上です。
	委員長	議題3について、質問やご意見ありますか。
	委員 A	ふるさと納税について、今はビールが一番だと思うが、ビール以外で食品も出てきている中で、これから何を伸ばしていきたいか。
	事務局	資料にはビール、加工品とありますが、実際多いのは、からだすこやか茶や冷凍ピザといったものが人気です。 ビールは非常に多く、そこを呼び水として色々なものを伸ばしていきたい。生産数も考えながらになると思います。
	委員 A	売り上げを考えたら単価が高い方を取るのか、それとも薄利多売を取るのか、どちらがよいのでしょうか。
	事務局	単価が高いほうがいいというのが正直なところではあります、控除の限度額のことを考えると、寄附額帯としては15,000円から20,000円のボリューム層のところをターゲットとしていきたいです。
	委員長	他に質問はありますか。
	委員 B	ビールが寄附額全体の約7割ということだが、取り扱う事業者の要件などは?
	事務局	応募資格があり、それに則っています。国が定める基準をクリアするのが前提で、他にもビールを取り扱うのであれば、お酒の販売免許が必要です。
	委員 B	販売免許があるのは2者以外もあると思うが、その2者の違いは何ですか。
	事務局	出しているのはサッポロビールで、本数の違いなどで取扱いを分けています。
	委員 B	小分けの業者は多い本数を売りたいと言わないのですか?
	事務局	当初は少ない本数ということだったが、徐々にそういう声が挙がっています。

	委員 B	他の事業者はいないですか？もしいた時に「登録できない」とはならないと思います。
	事務局	そういう声は出始めています。公平感という意味では、可能であればシティセールス委員会の皆さんに第3者目線で事業者の選定をしていただきたいので、別途相談させていただきたいと思います。
	事務局	ふるさと納税事業は初期投資の問題等もあり、当初参入事業者が集まらなかつた経緯がある中で、寄附額が増加し酒税免許があればどの業者でも参入できることから新規参入で希望があるのも事実です。 ただ、そういった中で市全体として、市職員だけでなく、第3者を入れて、皆様の声を聞かせていただきながら進めていきたいと考えているため、協力していただきたく思います。
	事務局	そのように進めていくために、次回の委員会で相談させていただきます。
	委員長	他に質問はありますか。 【質問なし】 続いて、議題4のえにわざつとフォトコンの受賞者選定について、事務局からお願ひします。
	事務局	P22、えにわざつとフォトコンについて、委員の皆様に受賞者選定に関わっていただければと思います。 市民主体の参加型PRとして行っているもので、現在は市の担当者が 10 作品選定して部内で投票するものにしています。 市の意見だけで決まるものになっていたため、公正な選定という観点で、今後はある程度絞り込んだ段階で委員の方にも投票していただけるようにしていきたいと思っています。 また、受賞者には市長表彰も考えています。それを取り上げてもらうことで更にPRになれば良いと思っています。
	委員長	議題4について、質問やご意見ありますか。 では私から質問があります。 受賞されたら再度インスタにあげたりしていますか？
	事務局	市のアカウントあげて、ご本人にも郵送先を聞いてプレゼントを送っています。
	委員長	プレゼントは何ですか？
	事務局	今年だと5,000円相当の商品券等です。
	委員長	それもインスタグラムで告知しているのですか？
	事務局	インスタグラムと市の広報で報告しています。
	委員長	商品を渡しているところを取り上げれば、PRになるのではないでしょうか？
	事務局	今まででは郵送で商品を送っていたが、授賞式みたいにするのもひとつのやり方だと思います。
	委員長	タイムリー的に投稿するのも効果的ではないでしょうか。
	委員 A	もうちょっと大っぴらにやってもいいのではないか？ シティセールス推進委員会の委員が知らないのなら、市民も知らないと思うので、もっと認知させないといけないと思います。 SNS以外の周知も考えないと感じていて、道の駅で写真を並べて、投票してもらう等、リアルな部分と SNS を混ぜて周知していくことが必要だと思います。
	事務局	選定のところにも市民に関わってもらう、ということでしょうか？

	委員 A	そうです。今は、市の職員だけの目線になっています。売り込み側だけになっているので、市民の目線も足していきたいと思います。
	委員 C	ずっとフォトコンについて、月何件くらいのハッシュタグ付きの応募があるのでしょうか？恵庭市外の人が受賞することもありますか？
	事務局	市外の方が受賞することもあります。
	委員 C	露出について、いろいろ意見があつたかと思うが、花とくらし展やハロウィンで授賞式を行う等、露出度をあげるのが良いのではないですか。 以前、セレモニー的なことが出来ればということを言った記憶もあります。実際にネットの世界だけで終わってしまうのが現実です。それだけでなくもっと多くの人に知りていただけるようなリアルな動きが出来ればいいと思う。
	事務局	投稿はおおむね 20 件程です。もっと増やしていきたいが、ある程度の応募は確保できているので、他の意見もタイミングも考えたいと思います。 サイクリイベントで同じようなフォトコンテストをやっており、表彰式等を検討していたが、表に出たくないという思いもあるため、そういう方には配慮した上で、ハイブリッドな方法でやっていきたいと思います。
	委員 B	例えば審査をコンペ方式にするとか。権威性を持たせても良いのではないですか。賞をもらうことがステータスになることもあります。 そのほかにもショート動画でコンセプトごとに集めるとか、幅を持たせてもいいのではないかでしょうか。
	事務局	次年度のやり方も含め、可能な部分でご意見を反映させていただきたいと思います。
	委員 A	ショート動画をPVの素材にしても良いのではないですか？
	事務局	ご意見ありがとうございます。
	委員長	続いて、議題5の恵庭市公式アプリにわづかについて、事務局からお願ひします。
	事務局	P24・P25、事業目的としては様々なジャンルを合わせて相乗効果を図り、楽しんで活用してもらうというアプリを目指しているところです。 ダウンロード数は今年の3月末で8,000、アクティブユーザーは5,300で、9月末時点で8,900のダウンロード数と5,900のアクティブユーザー数となっており、それぞれ増加しております。 拡張機能としては、健康増進機能、防災機能、ウォーキング機能 EC サイト機能があり、利用実績は健康機能で 2100 件、ウォーキングは月間 70～250 人程が継続利用しております。
		P26、今年度の取組です。えにポリ活用として、抽選会で「白い恋人シェイク」引換券が当たるキャンペーンを実施しており、210口の応募がありました。 「えにわゼロちゃれ」として利用登録により商品券プレゼントなどを行っています。 アプリの多言語対応やPR動画の作成を今年度中で考えています。
		P27、課題として、利用促進が不十分なこと、使用者が限定的であること、市民や事業者への周知不足、ポイントを貯めたり使ったりする機会が限定的であること、等が挙げられます。 次年度は、アプリダウンロードキャンペーンや市民自らが情報発信できる機能の拡充や、シティセールス・ふるさと納税と連動した機能の開発を検討しております。
	委員長	この議題については、前回外れており、今回戻していますが、それはなぜでしょうか？
	事務局	シティセールスのプランの中で成果指標などにもしていることから再度、議論頂きたいという趣旨です。
	委員長	それはもっと市民の方にアプリを使って欲しいということでしょうか？

	事務局	そうです。
	委員長	現状のアプリを大幅に改善するのは難しいとのことです。現状のアプリでどのように市民につかっていただけるか、建設的な意見をいただきたいです。
	委員 A	<p>移住者交流会に参加した時、「アプリの事を知ってはいるけど、どう使うかが分からない」という方がおられました。</p> <p>お子様をお持ちのお母さん目線でいうと、公式 LINE と情報がほぼ同じなので、ラインで十分だと思います。</p> <p>もうひとつ話題に挙がったのが、ごみ袋の値段が高いということです。私のアイデアなのですが、ゴミのカテゴライズについてより特化するとよいと思います。</p> <p>昨年度の総合計画のシンポジウムの中で教授がおっしゃっていたのですが、恵庭市のごみ処理能力は素晴らしいということです。しかし、それを知らない方が多いです。</p> <p>また、ゴミの分別が難しいため、そういう不満がある部分の理解を得られるような取り組みをしていくことが必要だと思います。例えば、口コミ投稿アプリのようにして、良い口コミについてはポイント贈呈などもしたらいいと思います。</p> <p>もうひとつは、えにボの使い方がよく分からないという意見が多かったので、ゴミに紐づけてスーパーと連携して、ゴミ袋と交換できるようにするはどうでしょうか？</p> <p>そのくらいやらないとアプリをダウンロードする意味にも繋がらないと思います。</p> <p>ゴミ袋をポイントで交換できるのは画期的だと思います。</p> <p>お母さんたちへのアプローチが重要だと思います。</p>
	事務局	ポイントの利活用については今考えているところで、店にも協力いただける範囲でお願いしている形なので、あり方も含め考えていきたいと思います。
	事務局	<p>投稿化について、SNS上の投稿を市ですべて拾うとなると、それなりの体制を整備しないといけません。それが整備出来るかが、ひとつの課題です。投稿数が膨大となると、市で処理できません。</p> <p>もうひとつ、ポイントをゴミ袋にかえるということですが、ゴミ袋は手数料なので、手数料をポイントとして還元することに疑義が生じます。アイデアとしてはいいと思いますが、公金の取り扱いのルールをクリアできるかというところが課題です。ゴミ袋は景品に使わないという形でやってきてるので、ポイントが金券的な扱いとして買えるものなのか、というところを検討しないといけません。そのような課題があるということを認識していただきたいです。</p>
	委員 A	投稿数が膨大になることへの課題は、フィルターをかけることで解決できると思います。本気度の低い投稿はフィルターにかかるので、本気度の高い投稿だけを残すことがあります。
	事務局	実務上、取扱いが現実的かどうかというところが問題です。
	委員 A	実際にやりながら、アップデートしていく形がいいと思います。
	委員長	他に質問はありますか？
	委員 D	課題のところですが、利用者が限定的なのはどの層のことなのでしょうか？
	事務局	どちらかというと、デジタルに不慣れな高齢者層に課題感があります。人によるとは思いますが、ウォーキング等は高齢者層の方が多いかもしれません。
	委員 D	<p>これから高齢者のスマホ世代が増えていきます。</p> <p>高齢者の方に進めるというところであれば、長寿大学の講座でレクリエーションをとか、大学の公開講座として行うなどはどうでしょうか。</p> <p>来てくれたら何ポイントというのもやってみれば促進になるのではないかと思います。</p>
	事務局	ご指摘の通りだと思います。出前講座の中にメニューとしてもありますし、そういうセッティングがあればぜひお願いしたいです。
	委員 A	もう一度よろしいでしょうか。

	やはり、ポイントをどうするかが、話し合うべきところだと思います。 より具体的に考えて、ポイントを使えるお店を増やすとか、市民が生活していく上でポイントをもらえるメリットを感じてもらえる仕組みを作っていくかないといけないと思います。
事務局	どういう風にポイントを使っていけば市民にメリットがあるか、等の意見を皆さんから聞きたいところです。
委員 A	スーパー やガソリンの割引券とかで、惠庭市民のためになるようなポイント活用方法を考えないといけないと思います。
委員長	金券として使えれば良いが、使えないなら何かをプレゼントするとか、対価がないとダウンロードしないと思います。
委員 B	アプリのシステム会社でシステム的にできないというのはわかっています。そこが変わらないとどうしようもない部分もあると思います。また、アクティブユーザーがどの程度のアクティブなのかも大事だと思います。 日本全国でいうと、自治体で佐賀市のアプリが受賞していますが、アクティブユーザーに対する解析がしっかりしています。 直接でなくとも、使っている人の意見とともに重視したらより良いものになるのでは無いでしょうか。 えにあすでのスマホ教室が人気があると聞きました。事業者側にもキャンペーンに賛同してもらう働きかけもしたらいいのではないでしょうか。 LINE ユーザ数はどれくらいでしょうか？
事務局	2万人くらいです。
委員 B	LINE は普段使いするので、必須で使うが、アプリは性質が違うので、使わないといけないような仕組みづくりが必要だと思います。
委員 A	アプリ会社とは週1回でミーティングをするくらいでもいいかもしれません。
委員長	アクティブユーザー数は会社が解析しているのでしょうか？ここまで多いとは思えません。
事務局	アクティブユーザーをどのように定義するかでも変わりますが、たとえばポイントを獲得した人は8月時点で3,000人くらいです。
委員長	年代とか性別は解析できていますか？
事務局	やろうと思えばできると思います。
委員長	YouTube 広告でも分析できるので、そこら辺の解析をしっかりやらないといけないと思います。
事務局	誰がどこのページを見ているのか、等の細かい分析は出来ていません。
委員長	もっと細かい分析が必要で、業者と詰めてやっていくべきだと思います。
委員 E	アプリでいうと弊社においてもアプリが存在します。多くのお客様にご利用いただいている状況です。
委員 A	今、惠庭で一番熱を持っているのはフォトコンだと思います。 えにわっかにフォトコンのページを入れたらどうでしょうか。
事務局	意見を参考にさせていただきます。
委員長	アプリ内のリンク切れ等に注意し、必要な情報はアプリ内で表示できるようにしないといけないと思います。 ギガ制限のある人は、ホームページに誘導されたらギガを使ってしまうので、アプリ内で

	委員 A	表示できるようにするのがよいのではないでしょか。
	委員 C	高齢者層が不慣れなのは当然なので、本気で変えたいなら、主婦層に話を聞くのが一番よいと思います。
	事務局	インターフェースを変えることぐらいはできるのでしょうか？
	委員 C	確認しないと分からぬが、厳しいと思います。
	事務局	市民向けなのに配置が悪いと思います。市民にお知らせしたいことが前面に出ているかどうか、情報を持ち寄っていく仕組みづくりが重要だと思います。このままだと誰にとっても使いにくいものになっていると思います。
	委員長	このアプリは国の交付金を活用しており、当初公式 LINE はやらない方針で「アプリを中心に」ということで開発しました。その間に LINE が始まり、LINE とアプリの使い分けがはっきりしないまま進んでいるという経緯があります。ラインは防災、学校への連絡等が効果的で、アプリはホームページが入っているが、使い勝手が悪いという状況になっており、我々もそう認識しているところです。去年の委員会でアプリのことを切り離したが、アプリでまだできることがあるということで再度戻しました。検討事項として、ダウンロードを進めるのに他の機能と連動した開発ができないかということについて皆様にご意見をいただきたいところです。ポイントのことも市として当然考えています。色々な事業所からも提案をいただいているところですが、委員の皆様のご意見も参考にさせていただけたらと思います。
	委員長	最後に、議題6のその他について、事務局からお願ひします。
	事務局	P29、恵庭市シティセールスプラン「成果指標」の現状についてです。 シティセールスプランの関係人口の増加や勝手に20選が項目になっており、令和7年までは数字が入っています。 ほぼ目標には近づく形となっているかと思いますが、現状の報告とさせていただきます。
	委員長	こちらの方でなにかご質問やご意見はあるでしょうか？
	委員 A	2029年の目標値がゴールかと思うが、既に達成しているものについては上方修正しないのですか？
	事務局	1期の時も見直しをしています。今期も見直しをする可能性はあるので、ご相談の機会もあるかと思います。
	委員長	他にご質問あるでしょうか。 (挙手なし) 事務局から何かござりますか。
	事務局	次回の委員会の開催予定についてですが、開催の必要に応じて別途ご案内いたします。以上、今後とも委員の皆さまのご協力のほどよろしくお願ひします。
	委員長	それではこれで令和 7 年度第 1 回恵庭市シティセールス推進委員会を終了と致します。

以上